

特集 愛飲者インタビュー

10年ですっかり 消えていた悪性リンパ腫 漢方とSODに賭けた命

静岡県にお住まいの生田真理子さん (64歳)

日本
SOD
研究会報

発行元 日本SOD研究会 宮城
住 所 〒158-0094
東京都世田谷区
玉川 1-15-2 B棟 2802
TEL. 03-5787-3498
協力: 株式会社丹羽メディカル研究所
<http://www.niwa-medical.com>

「あっ、おかしい。これはいったいなに？」

足の付け根の部分（太ももの付け根）に、何か小さなしこりができていることに気づいた真理子さん。今から10年前、2007年夏のことでした。

おかしいなとは思ったのですが、数日前につまづいて足を痛めたので、まあ、その影響で足の付け根にきたかもしれない、くらいに考えていました。というのも、真理子さんは子供の頃から、運動後にリンパが腫れることが時々あったのです。いつも数日すると治っていたので、今回もそうだろうと思っていました。

いちおう念のために近くのかかりつけの医院に行って先生に相談したときも、大したことはないと思うからしばらく様子を見ましようと言われたのです。

「ところが1か月たってもしこりがなくならなかったで、思い切って伊東の私立病院に行ってみてください。そうしたら、先生からリンパ腫の疑いがあると言われたんで

す。それで、血液内科のある沼津の大きな病院を紹介されました」

検査の結果は、悪性リンパ腫のステージⅡでした。先生からはすぐに抗がん剤治療と手術を勧められたのですが、納得のいかなかった真理子さんは、県立のがんセンターにセカンドオピニオンを求めたのです。

「やはり同じ結果でした。ショックでしたね」

このセカンドオピニオンは、近藤誠先生の本にもある、金太郎鮎オピニオンのようです。同様の治療方法の病院にセカンドオピニオンを求めても、結果はほぼ同じことが多く、治療法も同様だというもの。

「私、抗がん剤治療だけはやりたくなかったんです」

そうきっぱりという真理子さん。理由をたどっていくと、なんと、SODにつながっていったのです。「もう20年以上前からなのですが、知り合いに紹介されて神奈川の漢方医に通っていました、その先生にSODを勧められて飲んでいた

んです」

煎じて飲む漢方薬とSODを20年以上飲み続けていたという真理子さん。どこかに持病があるのかと聞けば、子供の頃から虚弱体質だったことから、未病のために漢方を選択したという答えが返ってきました。未病とは漢方療法の根底にある、病を予防する、未然に防ぐための療法です。なので病気になるってから治療する西洋医療には疑問を感じていたのです。

「漢方の先生のおかげで、大きな病気にもならず元気でいられました。ところが、悪性リンパ腫が発覚したとき、実は漢方もSODも2年間飲んでいなかったんです。やっぱり、と後悔しました」

というのも、真理子さんは地元で教室を持っている伝統工芸の手芸家さん。そのころちょうど本を数冊出版し、あちこちに先生として招かれ、講演もしたりして、売れっ子でした。

「リンパ腫になる2年くらい前から、急に忙しくなって」

まだ50歳になったばかり。体力

的にも精神的にも充実していたのでしょう。多少の無理もきく年齢でした。

「調子に乗ったんでしょね。漢方の先生のところにも2年くらい行っていなかったんです」

僕の漢方は飲み忘れてもSODは必ず飲みなさい

そんななか発覚した悪性リンパ腫でした。

まずはがんセンターで内視鏡検査を兼ねたリンパ腫切除を行いました。これは検査を兼ねているので彼女も納得しての治療でした。

「でもね、3つあったリンパ腫のふたつが、鼠径部（足の付け根）大動脈にくっついていて取り切れなかったんです。当時の技術では取れないものだったそうで、抗がん剤で小さくするしか方法がないと言われました。すごく悩みました。

というのも、やはり抗がん剤は怖いものじゃないですか。私の周りで、がんになって、抗がん剤治療を始めたときに急にやせ衰えて、

あっけなく亡くなった人が何人かいたんです。それを見聞きしていたし、漢方の先生からも抗がん剤は怖いというのを聞いていたものですから」

がんセンターの先生は、すぐに始めれば進行を遅らせることができるか言ってくれたそうですが、しばらく様子を見る、というのが当時の彼女の選択でした。

「そうしたら半年くらいして、残っていたリンパ腫がまた腫れてきたんです。急いでがんセンターに行ったら、だからすぐに抗がん剤治療をしろと言ったじゃないですか。すぐに手術しますと言われたんです。入院の日も決められました」

2008年5月のこと。リンパ腫発覚から半年後のことでした。

「このときに、このまま入院して手術をして抗がん剤治療していいのか不安になったんです。今まで見てきた人たちのように、弱って死んでいく運命なのかと。病院にいるときは、先生のお話しがもっともだと思ってしまうのですが、家に帰って冷静に考えると、いろいろ

ろ迷い悩むんですよね。がんと診断されたら、誰でも不安に駆られ、混乱し、迷い悩むのは当たり前ですよね」

このときに漢方の先生に相談しようと思った真理子さん。先生がこれは無理だというならあきらめようと思っていたそうです。

「先生のところに行ったら、真っ先に、2年間来なかったねと言われました。だから発症したんだと責められるかとドキドキしていたら、先生は、まず、抗がん剤は絶対にいけないといい、僕の薬とSODで10年の命は保証する、と言ってくれたんです。もう、それだけで心が救われました。虚弱体質を改善してくれた先生ですから、信頼していましたし。その先生が、念を押しておっしゃったのが、僕の薬を忘れても、SODだけは絶対に忘れないで飲みなさい、という言葉だったんです」

漢方と一緒に飲み始めたSODが、そんなに大事なものであったんだと改めて認識したそうです。

「漢方と1日6包のSODを飲み

始めたら、1週間くらいで腫れがひき始め、痛かったお腹も痛くなくなりました。それで決心がつきました。がんセンターに行つて、先生に手術はやめておきます、と言ったんです。そしたら、先生、一瞬、あなたはいったい何を言っているんだと言わんばかりに目を見開いて驚かれ、隣でメモを取っていた看護師さんも、はっ?!と言つてペンを落としたくらい、みなさん驚かれましたね」

そのときの先生からは、手術をしないで放っておけば余命5年あるかないかだと言われたそうです。それでも、自分は体が弱いから、抗がん剤治療はやりたくないと思え、すべてをキャンセルしてがんセンターを退出してきた真理子さん。

「そりゃ、悩みましたよ。本当にがんセンターの治療をやめてよかったのかどうか、最初のうちはちょっとした変化にびくびくしながら過ごしていました。でも、漢方の先生とSODを信じて賭けたんですから」

幸いにもそれ以来、足の付け根に違和感はなく、体調も良く、がん患者だというのを忘れるくらいでした。もちろん、漢方の先生には月に一度診てもらっていました。

「そんなときに、漢方の先生が亡くなられたんです。リンパ腫が発覚してから9年後のことでした。そもそもお歳でしたから、私にあのとき10年は僕が保証するとおっしゃったのは、ご自分の寿命を考えておっしゃったのでしょね」

この10年間、検査すらしてこなかった真理子さんでしたが、ひとつの区切りが訪れたと感じ、思い切って10年ぶりにがんセンターの門をくぐりました。

「リンパ腫がどうなっているのか検査をしに行ったんです。そうしたら、ここで先生の勧める治療をするのなら検査をするけれど、検査だけして治療をしないのなら、検査はできません、と言われたんです。もう、信じられないですよ。患者はモルモットかと思いました。これが最先端のがんセンターかと疑いました」

幸いにも近所のお医者さんが別の病院に紹介状を書いてくれて、検査をすることができました。こちらにも有名な大学病院でした。

「3日間入院して徹底的に検査をしていただいたんです。東大病院の病理検査にまで出してもらったんです」

これ以上はないというくらいの検査をした結果

「どこにもなにも異常がなかったんです。大腸からんでいたというリンパ腫も、付け根のしこりも、がんの組織はどこにも見当たらなかったんです」

結果が出るまでは、何かあったら、今回は頼りの漢方の先生もいないから、覚悟はしていたと言います。余命5年が10年元気に生きただんだからと言いついていたとか。それが、無罪放免というお達しだったわけです。

「10年前に2か所の病院で悪性リンパ腫のステージⅡという診断だったことは先生もご存じなのに、その先生が言ったことは、きつと前の診断が誤診だったんでしょね、

ですよ。もう笑っちゃいますよね。天下の国立がんセンターで出た診断が、誤診だったんでしょね、で片づけられるんですから」

逆を言えば、それくらいあり得ないことだったのかもしれない。悪性リンパ腫が何もしないで消えることは西洋医学的にはあり得ないことです。もちろん、真理子さんは、先生に漢方とSODを服用していたことは伝えていませんし、伝えてもそれで治ったとは思ってくれないと思ったそうです。

SODを選択したのは 先見の明があつた

「私はつくづく運が良かったと思います。神奈川の漢方の先生とSODに出会えたんですから。別の漢方の先生に、西洋治療じゃなく漢方とSODを選択されたのは、先見の明がありますね、抗がん剤治療をしていたら、今頃は生きていないでしょうね、と言われました。本当にそう思います。ありがたいと」

今は体調に合わせて量を調節しながらSODだけを飲んでいてという真理子さん。すっかりSODマイスターになられています。ご主人も、お姉さま夫婦も、息子さん夫婦も、みなさんSODが常備健康食品になっているそうです。

「手芸の生徒さんたちや、お友達にも勧めています。自信をもって勧められるものですから。途中、いろいろ悩んだり迷ったりもしましたが、私は、自分の選択は間違っていないかったと確信しています。ただ、こういうのは個人差もありますし、なによりもご家族や親せきなど、身近な人たちの理解が必要ですね。私は主人、兄、姉、息子の後押しがあつてこの治療法を選択できましたから、生かされているなと思います」



丹羽療法 レポート

愛飲者の方からSODの有効性について質問

- ①子宮頸がんワクチン副作用
- ②消化管質腫瘍
- ③甲状腺未分化ガン

今回は、読者の方からいただいた丹羽先生にぜひ聞いてもらいたいというご質問をもとにインタビューをしてみました。

最初のご質問は、子宮頸がんワクチンの副作用はSODで軽減されるかどうか教えてください、というものです。

子宮頸がんワクチンといえば、日本国内では2013年4月から、12〜16歳の女子について、国の補助でワクチンを接種する「定期接種」としました。しかし、接種後に発熱、嘔吐、意識レベルの低下に始まり、運動障害などの重篤な症状が相次ぎ、同年6月に積極的勧奨を中断しました。現在も、対象年齢の女子は公費の負担

を得てワクチン接種を受けられます。しかし、被害を訴える人たちが2016年に国やワクチンメー



カーを相手に集団訴訟を起こした影響もあり、接種率は1%未満にまで減っているそうです。ワクチンの必要性や副作用の検証に関しては、まだ結論が出ていない現状ですが、苦しんでいる女性がたくさんいることは確かです。

そんな子宮頸がんワクチン接種に対する副作用の症状と言われているHANS症候群（HPVワクチン関連神経免疫異常症候群）に対してSODは有効か聞いてみました。丹羽先生は

「もちろん有効です。SODは活性酸素を除去し、血液の循環を良くするから、ワクチンの中にある有毒な物質を流しだしてくれます。一日に6包から9包は飲むようにしてください。そして続けることが大事です。症状がラクになったらSODの量は減らしてもいいから続けること」

続いての質問はGISTという消化管間質腫瘍というがん。SODは有効かというものです。このGISTとは、国立がん研究

とは異なる性質のものだとか。病
変が大きくなっても自覚症状が少

ない腫瘍ですが、腹痛や腫瘍からの出血による下血、貧血などの症状があらわれることがあります。

切除することが可能な場合は、手術を行います。完全切除できたと思われる場合でも、手術を行った後に肝臓や腹膜への転移を起こすことがあるそうです。10万人にひとりかふたりという非常にまれながんだということですが、丹羽先生の診療所では比較的多い例だと先生は言います。

「このかんの方は結構いらっしゃいます。腫瘍は手術で取っても、転移の確率が高いから、ぜひともSODは飲んだほうがいいですね。多ければ多いほどいい。できれば1日に9包。もっと望ましいのは、僕のところに来ることです。やはり腫瘍ですから、僕の診察と生薬は腫瘍によく効きます。術後に抗

最後は、甲状腺の未分化がん

ついでに質問です。そもそも甲状腺というのは、頸（くび）の前側のまん中、皮膚と筋肉の奥、のどぼとけのすぐ下のあたりにあります。ホルモンを分泌する臓器で、

そのホルモンは子供の頃は成長に欠かせないもので、大人になると新陳代謝を調節する働きがあります。この甲状腺から発生するがんには乳頭がん、濾包（ろほう）がん、髄様（ずいよう）がん、未分化がん、悪性リンパ腫などがあります。（癌

丹羽先生は

「乳頭がん、濾包がん、これらは進行が遅いがんで、放っておいても命にすぐかわることはない。さらに手術で完治する場合が多いから、そんなに心配しなくてもいい。しかし、未分化がんは難しいがんです。たいいてい乳頭がんや濾包が

んが長い間に進行して悪化したもので、まれながん。60歳以上に多く、大きくなたら手術で治すのは難しいね。放射線もあり効かない。治らない。SODは症状を軽減する意味で飲んだほうがいいです。飲めるなら1日に9包くらい飲むといいです。甲状腺のがんはいきなり未分化がんになることはないから、初期の乳頭がんなどのうちに治療することです」

と、未分化がんに関しては厳しいお話しでした。

今回、いくつかのご質問をいただきましたが、丹羽先生は、やはり腫瘍であれば診察を受けてほしいといえます。なぜなら症状は人

難病で苦しむ方たちが、少しでも早く良い治療法に行き当たるように、本誌では愛飲者の声を募集しています。お手数ですが、

日本SOD研究会 宮城宛

TEL 03 - 5787 - 3498

までご一報下さい。

それぞれ、千差万別ですから、治療法も異なります。なによりも、先生の開発された制癌作用のある生薬の処方ができるからです。

◆丹羽先生診察ご希望の方は
御紹介、御予約いたします。
※自由診療となります。
丹羽メディカル研究所
☎ 0120(731)175
もしくは

☎ 0120(731)175

日本SOD研究会
03(5787)3498

まで
お電話ください。

第32回

日本ゴマ科学会
レポート

32回目を迎えた「日本ゴマ科学会」。今年は10月に研究学園都市、つくば市で行われました。つくば市には大学をはじめ宇宙センター(JAXA)、自動車から農林研究機関に至るまで国の研究法人が集まり、まさに研究の都市。今回の開催実行委員も、農研機構という、種苗の栽培実験から農業、食料、環境にまで関わる国の研究機関が

行いました。自ずと、発表テーマも、ゴマの収穫や品質といった栽培に関することが中心でした。面白いのは、ゴマにもお米と同じような「まどつ、まるえもん、まるひめ」といった品種名がつけられたものがあるということ。またそれらは、従来のゴマよりもセサミン、セサモリンなどのリグナン類を多く含むことに成功した品種だとか。そうなると、ゴマの健康への貢献度もますます上昇することになります。

ご存知のように、ゴマにはコレステロール値の改善、中性脂肪値の改善、動脈硬化、心臓病の予防、腸内環境を整え、大腸がんなどの予防、乳がん予防、老化予防、アルツハイマー予防、パーキンソン病予防、糖尿病およびその合併症予防、骨粗しょう症予防、肝機能改善、更年期障害改善、貧血改善、美肌、アンチエイジング効果といった様々な効能があると言われています。

今回の研究発表の場でも中部大学の「ゴマ継続摂取による潜在的

抗酸化および食生活改善意識の向上について」という研究がありました。その内容を少し紹介します。「一般的にゴマは健康食品として認知されているが、一定量を継続的に摂取することはあまりない。これまでもゴマ継続摂取による体内の抗酸化力、酸化ストレス度の変化について検証してきたが、今回はシニアに世代を対象に、ゴマを1日に10グラム、1か月間継続摂取することで、潜在的抗酸化力

にどのような変化が現れるのかを調査した。結果、ゴマの継続摂取により、全員に抗酸化力の向上と、酸化ストレス度(身体が酸化することによって生じる有害な作用)の低下がみられた。ただ、個人差もあり、今後も酸化ストレス抑制効果については経過観察を検討」

このようにゴマ摂取による健康への効果を科学的見地から解明していく研究は続けられ、その結果に期待したいと思います。



黒ゴマの驚くべき!

健康効果



ゴマの優れた栄養成分の
体内での働きについて

黒ゴマキャラクターのゴマっちです。
黒ゴマの健康効果についてお伝えします!

古くから、ゴマを食べると若々しく健康に過ごせるといわれてきました。このゴマの健康パワーの源といえるのが、ゴマに含まれる希少成分のゴマリグナン類、その主成分であるセサミンです。

今月は、肝臓の働きとゴマリグナン類の抗酸化作用の重要性についてレポートしたいと思います。

肝臓は3つの働きを担う
「肝心」な臓器

セサミンの抗酸化力による、肝機能の向上作用についてはお伝えしてきましたが、そもそも肝臓はどのような働きをしているのでしょうか?今回は、意外に知られていない肝臓の重要な働きについてレポートしたいと思います。

肝臓は内臓の中でも一番大きく、位置的にはみぞおちのあたりです。肝臓が大きいのは伊達ではなく、重要という意味の言葉に「肝心」という言葉が使われますが、文字通り、肝臓は心臓と同じく

らい肝心な臓器といえます。肝臓は、私たちの体の中で、次にあげる3つの重要な役割を担っているのです。

①体のパワーの源である「発電所」

まずは発電所としての役割です。私たちが体を動かすのに必要なエネルギーを作り出す場所ということになります。まさに、私たちの活力の源は肝臓にあるということでも過言ではないのです。

肝臓の働きが高まれば、全身が元気になるります。逆に弱まると

疲れやすくなり、スタミナ切れの状態になってしまつたのです。

②体の部品を作り出す「製造工場」

次は体の部品を作る製造工場としての役割です。私たちが食事で摂取した栄養分は食道を通り、胃や腸で消化吸収された後に肝臓へ到達します。到達したタンパク質や糖分、脂肪などの栄養分を、全身の各部分の役に立つよう作り変えて再び全身に送り出しているのが肝臓です。

肝機能が高まれば、新陳代謝が活発になり、体は健やかに保たれます。逆に弱くなってくると、代謝が滞ってしまい、いろいろな問題が起きてしまつたのです。

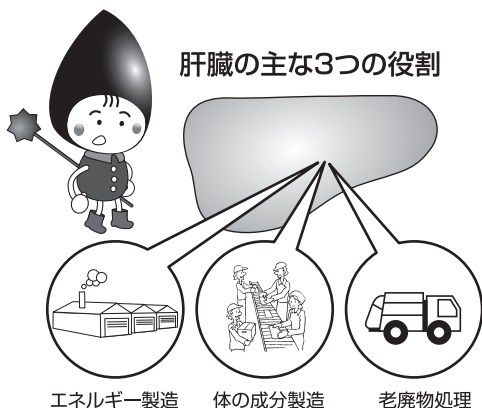
③老廃物を分解する「ゴミ処理場」

次は「ゴミ処理場」としての役割です。

全身をめぐる血液は、体の各組織から不要になった老廃物を運んで肝臓に戻ります。それらの老廃物を分解し、きれいにする役割を担っているのです。

体にとって有害な

肝臓の主な3つの役割



処理がうまくいかず活性酸素がたまってしまうと...

疲労

生活習慣病

老化



つづく

物質、不要なアルコールを分解処理するのと同様です。肝臓の分解能力が衰えてくると、体の酸化や老化が進んでしまつと考えられているのです。

以上が肝臓の、3つの主な役割になります。肝臓の役割といつとお酒(アルコール)が分解されるどころ、といったイメージが強いのですが、実は非常に「肝心要」な働きをしているということがお分かりいただけたかと思います。

肝臓に直接届いて活性化するセサミンの抗酸化作用で肝機能を高められるよう、ゴマを意識的に摂るようにして、毎日の健康生活に役立てたいものですね。

●SOD様作用食品とは●

丹羽博士の開発

SODとは、スーパーオキシド・デイスムターゼの頭文字をとったもので「活性酸素」を取り除く「酵素」のことです。

最近、健康の力ぎを握る物質として「活性酸素」と「SOD」の働きと役割がクローズアップされてきました。そして、活性酸素が体内に増加すると、がんや成人病など、さまざまな疾病を引き起こすことが明らかになってきました。

体内に活性酸素が増えても、本来、人間や動物には余分な活性酸素を取り除くSODという酵素が存在していて、病気を防ぎ、身体の健康を守ってくれます。ところが、現代社会の弊害（公害、薬害、食品添加物の害）などが、活性酸素を暴走させていて、体内のSODだけでは追いつかなくなっています。

しかし、残念なことにSODという酵素は分子量が大きいために内服しても胃で破壊され、腸から吸収されません。それを、内服できるように研究されたのが丹羽SOD様作用食品です。

開発した丹羽朝負（耕三）医学博士は、京都大学医学部を卒業し、医学博士として数々の研究が注目を集めていたときにご子息を白血病で亡くされ、それをきっかけにSODの研究を始めました。副作用がまったくないがん治療薬、がテーマでした。開発には実に



二十年もの歳月が必要でした。

「活性酸素をはじめとする免疫学の研究を通して私が知った、自然の摂理」は、私に大自然のメカニズムの精微さと人間の自己治癒力の偉大さを教えてくれました。病気は自分が治すもの、私は、この理想を患者さんの誰もが実現できるように医師の立場から最大限の努力を続けています」

先生は今も、土佐清水病院院長として、毎日、医療の現場でがん、アトピー、膠原病などの難病に苦しむ患者さん達の治療にあたっています。また、SODなどを始めとする論文は海外でも高い評価を得、日本のみならず海外の学会で講演をしたり、大学病院で特別講演をしたりと、多忙な日々を送っています。

幸いなことに最近、西洋医療と東洋医療などを統合した医療へと世の中の流れが向かっています。代替医療に対する関心や認識も高まり、丹羽博士が40年も前から言っていた、本当の意味での人を診る診療の時代です。

この会報は、そんな丹羽博士の志を受け、誰もが自分の力で健康でいられるように、難病で苦しむ方が少しでもなくなるようにとの願いを込めたものです。

SOD研究会からのお知らせ

いつもSOD研究会報をご覧いただきありがとうございます。

最近、特に当研究会へお問い合わせいただくことが多い内容についてお知らせ致します。

「丹羽耕三博士のSOD様食品は金の笠のシールが貼られていれば、どこも同じものなのではないか？」というような、ご質問をよくいただきます。

その回答としましては、金の笠（管理番号付）シールは丹羽免疫研究所で分析・検定し、エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で開発当初から、厳しい品質管理のもとに伝統的な製法で造られる製品だけに貼付される信頼の証（マーク）でした。しかし、ここ数年前より丹羽先生の考えで別の工場で製造されたSOD様食品にも金の笠のシールが貼られ、販売されているものもあります。土佐清水市の工場で製造されたか、そうでないかを見比べる一つの目安が、まず金の笠シールの特徴にあります。

エーパック・ニワ加工工場（土佐清水市）で製造されている製品シールの特徴



原寸大 横 30mm、縦 25mm

- 管理番号は6桁
※土佐清水で製造された証明の通し番号となっています。
- シール左部分に絵や記号が記載されている
※左部分の表示は製品管理の為、不定期に変わります。
- 他の工場で製造された製品と比べ、原末の味や色、粒の大きさが違う場合などがある